

令和3年度第1回地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会

評価委員意見結果

開催日：令和3年8月20日（金）

～9月8日（水）

【書面開催】

1. 評価委員

	氏名	団体及び役職等
委員長	高杉 豊	大阪府保健医療財団 理事長
	御前 治	吹田市医師会 会長
	飯原 弘二	国立循環器病研究センター 病院長
	土岐 祐一郎	大阪大学医学部附属病院 病院長
	村尾 孝之	吹田商工会議所 常議員
職務代理	足立 泰美	甲南大学 経済学部 教授
	清水 和也	日本公認会計士協会近畿会

(敬称略)

2. 会議概要

開催日	令和3年8月20日（金）～9月8日（水）【書面開催】
開催状況	電子メール及び資料の送付にて書面開催を通知。 議事に関する意見照会を行った。
議事	第3期中期目標について
配付資料	資料1 地方独立行政法人市立吹田市民病院 第3期中期目標（案） 資料2 地方独立行政法人市立吹田市民病院 第3期中期目標（案）の要点 資料3 第3期中期目標（案） 重点事項 資料4 現行の中期目標のうち、第3期中期目標（案）で削除した項目 資料5 地方独立行政法人市立吹田市民病院中期目標 項目対照表 資料6 地方独立行政法人市立吹田市民病院中期目標 対照表

3. 意見概要等

上記議事について意見照会した結果、いただいた御意見・御質問は下記のとおりであったことを御報告いたします。下記の内容につきまして市民病院と情報共有を行い、市の第3期中期目標及び市民病院の第3期中期計画の参考とさせていただきます。

(意見照会結果)

番号	該当箇所	意見等内容	市の考え方
1	第3期中期目標(案) 第2-2-(3)及び 第3-2-(3)	資料 第3期中期目標の第2の(3)小児医・周産期医療の項目と、第3の2.働きやすい職場環境の整備の(3)働き方改革に関することです。 今後、医師の勤務時間制限が実施されると、特定の診療科、例えば産科において、人員不足に陥る可能性があります。当直業務を担っている外部医師が来なくなってしまうことが考えられます。それらの診療科において、増員などの対策は考えておられるでしょうか。	中期目標案の中でも、人材確保に努め、小児医療・周産期医療の役割を果たすよう指示しております。また、どのような対策を行うかは市民病院の判断によるものになってきますが、市としては産科に限らず、医療に切れ目がないように運営していくことを求めています。
2	第3期中期目標(案) 第2-2-(8)	全体が、地域医療を包括的にとらえて医療の機能・役割分担や連携をしようというトーンの中で、「2(8)難病に関する医療」が市民病院の中期目標の独立項目として出てくることに多少の違和感がある。 (重要には違いないが、総花的になるのでは)	難病指定医療機関、また、公的病院であることを鑑み、難病患者の受け入れに関して一定役割を担うことが求められていると判断して項目を設けました。御意見を踏まえ、検討させていただきます。
3	第3期中期目標(案) 第2-4及び5	大項目第2の、中項目4と5について、重要な事項を簡潔に表現しており、かつ、中項目5の「健都における総合病院としての役割」は第2期に引き続き、第3期でも重要であると思う。しかし、第2期中期目標では、中項目4と5を分けて別項目で記載した意義は大きかったが、第3期以降の今後は、中項目4と5は、一つの中項目の中で続けて記載し、一連の関係性をさらに総合的に整理した形にしたらいかがか。	市としては、いずれも重要な項目として位置付けていることから、それぞれにおいて、しっかりと目標設定及び評価を行いたいと考えております。

		(あえて二つに分けず、中項目4の中の一連の項目として「健都における総合病院としての役割」を記述する)	
4	第3期中期目標(案) 第2-4-(2)イ	在宅療養後方支援病院の施設基準取得について、今回明記されましたが、「検討を進める」との記載にてあまり積極的とは感じられませんが、問題ないでしょうか。	現時点では、医療圏内での機能分担を考慮し、すぐに取得することは想定していません。今後、在宅医療等への需要がさらに増加することが見込まれており、圏域において必要な医療が届かないことがないように、同基準取得について検討・準備を指示するものです。
5	第3期中期目標(案) 第4-2-(1)ア	「2 収益の確保と費用の節減」は、より具体的な記載がなされ、良いと思いますが、「(1)収益の確保 ア」において、「数値目標を適切に設定する」だけでなく、結果の分析と対応の検討をするような文言がある方が良いと思います。「(2)費用の節減 ア」ではそのような記載となっておりますのでご確認ください。	健全な病院運営を継続させていくためには、結果の分析は重要なものと考えますので、御指摘を踏まえて、文章を整理させていただきます。